平成21年11月30日

吸 着 試 験 結 果 報 告 書

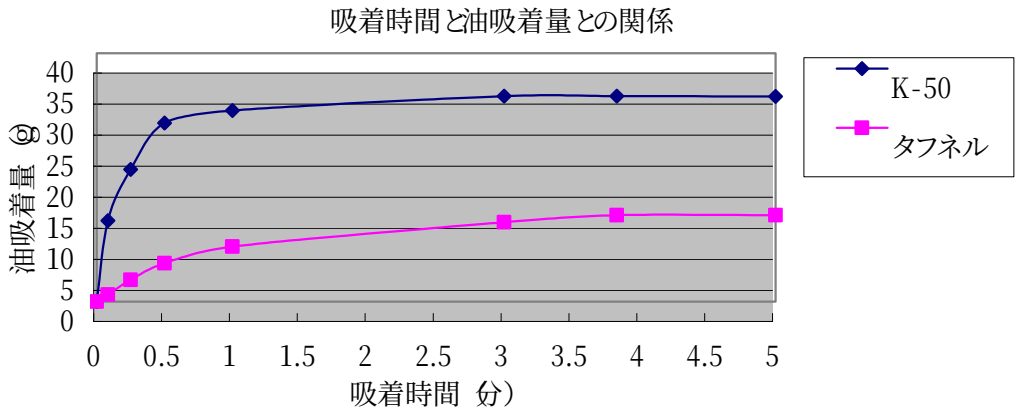
1．材　料　シ　ー　ト　　カクイオイルキャッチャー　K－50
　　他社製品　タフネルオイルプロッター　BL-50
　　吸 着 油　　エンジンオイル廃油
　　バ　ッ　ト　　15cm×20cm，高さ2.5cm

2．試験方法(国土交通省　油吸着材型式承認試験基準　舶査第52号に準ずる)
①5cm×5cmの試験片を準備し、重量を測定する。
②エンジンオイル廃油をバットに入れ、①の試験片を浮かべ所定時間静置させる。
③②の試験片を15mmのメッシュ状に編んだ金網上に取り上げ5分間放置する。
④③の試験片の重量を測定し、試験片1g当たりの油吸着量を算出する。
⑤また、飽和状態になるまでに要した時間を測定する。※2

3．試験結果（天気：晴れ、室温：22℃、湿度：50%）

シート名	吸着時間	吸着前の試験片重量(g)	吸着後の試験片重量(g)	油吸着量(g/g)＊1
K-50	5秒	0.51	7.15	13.02
	15秒	0.52	11.59	21.29
	30秒	0.50	14.87	28.74
	1分	0.51	16.21	30.78
	3分(飽和状態)*2	0.50	17.05	33.10
	5分	0.51	17.36	33.04
他社製品タフネル	5秒	0.53	1.13	1.13
	15秒	0.49	2.21	3.51
	30秒	0.50	3.58	6.16
	1分	0.51	5.04	8.88
	3分50秒(飽和状態)*2	0.52	7.75	13.90
	5分	0.52	7.75	13.90

※1 油吸着量＝（吸着後－吸着前）÷吸着前



この結果、K-50の初期吸着量は他社製品タフネルの飽和吸着量と同等であり、K-50の吸着効率が優れていることがわかった。

カクイ株式会社
研究開発チーム